

授業実践 4 「私の『生き方宣言』」 [生命尊重3 - (2)]

【実践日時】 平成15年12月4日(木) 第1校時

【授業実践校、対象学年、組】 中学校 2年2組 在籍32名

【授業者】 久保えり子

【準備】「マリナ」のVTR(NHKスペシャル)、「マリナ」の写真、相田みつを「道」の詩
「心訓七則」、画用紙(A3版)、カード、ワークシート、模造紙

(1) 本時のねらい

ガイダンス道徳からの流れ

「生きる」ということは、様々な感情が引き起こされる事象がある毎日の中で、前向きに一歩一歩自分の歩みを進めていくことである。支え合うこと、努力を積み重ねることの大切さ、いのちの重みについて生徒は学んできた。両親の大きな愛に包まれて育った日本の子どもたちにとって、努力をすれば夢や希望は叶えることができる。しかし、それを当たり前と感じてしまい、生きていることや夢を追うことの素晴らしさを追求し、自分の人生を切り拓いていこうとする「生」に対する執着心が薄くなっているのも事実である。

世界には想像を絶する劣悪な環境の中で生活する子どもたちがいる。今回の授業の前半で扱うビデオには、路上で行き交う人に手を差し出して恵みを請い、残飯をあさり今日を生きることに精一杯の子どもたちの姿が映し出される。自分の存在が否定されるような生活を送りながら、それでも必死に生きる子どもたちの姿は、改めて「生きること」の意味や、「夢をもって生きることの大切さ」を生徒に教えてくれるはずである。

「いのち」の授業の観点から

「いのち」は自分らしく生きる人生そのものである。命が受け継がれていく中で、我々は常に「自己選択」「自己決定」「自己責任」を問われる。我々の命は、自分のものであって決して自分一人のものではない。脈々と受け継がれてきた「いのち」を繋いでいかなければならない役目も背負っているのである。一つしかない「いのち」だからこそ、人に委ねるのではなく、自分が主人公となってどのように生きていくかを求めていくことに「生きる」価値があると考え。最終回である今回は、「いのち」のかけがえのなさを自覚した生き方とはどのようなものなのか、国際化の進む現代で、自分の進むべき生き方を宣言をすることで締めくくりたいと考える。

私の『生き方宣言』の授業の押さえはここ！

POINT 3

- 1 どのような状況であっても、人の「いのち」はかけがえのないものであるという心情を深め、将来自分が国際社会の中でどのように生きていくかを考えさせる
- 2 自分の生き方を宣言することで、「いのち」に対する自分の責任を明確にし、かけがえのない自他の「いのち」を尊重していこうとする心情を高める
- 3 自他の「いのち」を大切にしたい生き方を追究しようとする態度を育てる

自分らしい生き方の創造と、その生き方を追究する姿勢を育てる

2 授業展開

	学習内容 (発問)	時間	指導上の留意点、予想される生徒の反応
前 半	<p>1 今日の学習の課題を知る</p> <p>「マリナ」の写真の提示</p> <p>この写真を見て下さい。彼女の視線に何が感じられますか。</p> <p><説明内容></p> <p>彼女の名はマリナと言い、アフガニスタンの13歳の女の子です。アフガニスタンは長く民族間の戦争状態が続いていましたが、ようやく戦争が終結したところです。アフガニスタンでは、タリバン政権のもと女子は学校にも行くことができなかつたので、彼女は読み書きができません。 国内難民が150万人います。</p> <p>これから見るビデオは、戦争が終結したアフガニスタンの子どもたちの姿です。彼女たちがどのような思いで生きているのか、考えながら見て下さい。</p> <p>ビデオ視聴</p> <p>感想の記入・発表</p> <p>戦争は私たちの生きる権利と意欲をどんどん奪っていきます。でも、ストリートチルドレンの施設の子どもたちやマリナは、悲惨な状況の中にいながらも懸命に生きていましたね。 みんなの心に彼女たちの生きる姿はどのように映ったのでしょうか。また、マリナの「今までは私など、気に掛けてくれる人はいなかった」という言葉をどう受け止めたか。感想を書きましょう。</p>	15	<p>写真だけでは想像が広がっていかないと思うので少女の生まれた国であるアフガニスタンについて簡単に説明しながら考えさせる</p> <p>-【予想される生徒の反応】- - - - -</p> <ul style="list-style-type: none"> ・悲しそうな目をしているので生活が苦しいのかも ・女子と言うだけで、学校にも行けない国があるなんて信じられない。学校に行かせてほしいという願いが込められているのかも ・戦争は終わったのに、悲しそうな顔をしているのは両親でも亡くしたのだろうか。その悲しみを訴えているのかもしれない。 ・戦争の悲惨さ ・夢のない生活の苦しさ <p>戦火の中で生きることの大変さは生徒も報道等を通して理解していても、戦争が終結し、平和が戻れば「生きる」ことがそれほど大変だとは考えにくいであろう。平和になったのに笑顔もなく厳しい表情のマリナの視線に注目させ、「いのち」に輝きを見いだせない中でも、けなげに、懸命に生きる「いのち」の尊さに気付かせたい。</p> <p>-【予想される生徒の反応】-</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分と同じ年代や自分よりも小さな子が物乞いしなければ生きていけない現状や、残飯をあさる姿はとても衝撃的だった。戦争とはこれほどまでに悲惨なものなのかと辛かった。戦争を繰り返してはいけないという意味が今はっきり分かった。 ・こんな思いまでして人は生きるのかと思った。自分だったらあのような状況に耐えていけるだろうか。毎日が平穩に過ごせる幸せを実感した。 ・インタビューに答える屈託のない表情の中は両親を亡くしたり、親を殺されたことで世をすねたような様子は全くなかつた。家族のために物乞いをして生活を支えるなど、1日を生きることの大変さが伝わってきた。 <p>感想記述の観点</p>

	<p>< 補助発問 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「今までは私など気に掛けてくれる人はいなかった」という言葉の奥にある彼女の叫びは何だろう。 ・ストリートチルドレンの子供たちは社会の中でどのような存在となっていると予想できるか。自分たちが残飯をあさる子どもたちの映像を見たときの事を思い出しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・決して投げやりな生活を送っていない子どもたちのまっすぐな目をどのように受け止めたか ・「神様、せめて家族の分だけでも」と言ったマリナの心にある願いを、どのように受け止め、解決策を探ろうとしているか ・平和になったのに、親を失ったり家族を養うために街で物乞いをしたり残飯をあさったりしなければならない子どもの姿から、「生きる」ことをどのように感じ取ったか ・恵まれた日本では考えられない状況をしっかりと捉えることができたか <p>【引き出したい生徒の考え】 -----</p> <p>生活環境、ものの考え方、感じ方、生活習慣が違っていても、一人の人間として尊重され、差別や偏見を持たれず、生きる権利をもっていることを心に刻んでおくことが大切だと思う。「生きる」というのはこんなにも厳しいものかと思うと共に、どうして我慢できるのだろうかと思った。</p> <p>中学生である自分たちにできることは、戦争が終わっても苦む人がいることを常に心に留め置き、誰もが明日に期待をふくらませることのできる世の中でありたいという願いを強くもつことではないかと感じた。幼いのに家族を支えている姿が印象的で家族の団結力が強いのだなと思った。</p> <p>確かに金銭的な援助も必要であるが、人間として一番情けないのは自分の存在が無視されることだろう。同じ地球上に、私たちが部活動やTVを見て生活している同じ時間帯に、明日を生きることに一生懸命な子どもたちがいることを少しでも意識して生活していきたい。</p>
<p>後 半</p>	<p>2 これまでの「いのち」の学習を振り返り、「私の『生き方宣言』」を作成する</p> <p>これまで、「いのち」の学習として、誕生したときの品物や家の人からの手紙で生命の誕生の素晴らしさを、『鈴虫が鳴いた』では互いにいたわり合うことで輝く「いのち」の支え合いの大切さについて義足のサッカー少年は、努力することで自分の可能性を広げていける「いのち」の素晴らしさ、『臓器移植』ではかけがえのない「いのち」の重さを学び、今日の『マリナ』</p>	<p>30</p> <p>今まで学習してきた事のカードを黒板に貼ることで、授業での学びを想起させる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>カード 誕生の喜び・素晴らしさ</p> <p>支え合いの大切さ</p> <p>努力することで輝く自らの可能性</p> <p>かけがえのない「いのち」の存在</p> <p>「い みんな同じいのちの重さ</p> </div>

ではどのような暮らしをしていても一生懸命生きる中で「いのち」の重みは同じであることを学びました。

今日は、ワークシートのまとめの中に書きとめてきたことや、印象に残っていることを利用しながら、オリジナルな「生き方宣言」を創りたいと思います。

(1) まず、今までの授業を思い出したり、ワークシートを見直してもいいので自分の「生き方」や「考え方」を振り返って、やはりこれが自分を輝かせてきたポイントだったなと思うことやこういったことを目指してやってきたことは正解だったということや黄付箋紙に書きましょう。

・次に、今まで避けてきたけど、これは取り入れたほうがやっぱりいいんだよなとか、心掛けるべきだと思ったことを赤付箋紙に書き出してみましょう。

(2) 書き出せたら、それらを使って私の「生き方宣言」を創ります。

「心訓七則」「道」を参考作品として提示

参考作品を簡単に説明

相田みつをの「道」は、いのちの根を張っていくために弱音を吐かずに黙って前進することを大切にしていきたいという気持ちを書いたものです。

『心訓七則』は、人としての生き方を心構えとして説いたものです。

各自作業

1 各自、ポイントや要素を簡単に付箋紙に書き出す

2 出し切ったらどのようにまとめて表現するか構想を練る

【例として提示】

黄色付箋紙

印象に残っていることを利用しながら、私の「生き方宣言」を創りたいと思います。

- ・くじけそうなときには友達に負けず競争心もってがんばってきた
- ・たくさんの人に祝福されて生まれてきた

赤付箋紙

(1) まず、今までの授業を思い出したり、ワークシートを見直してもいいので自分の「生き方」や「考え方」を振り返って、やはりこれが自分を輝かせてきたポイントだったなと思うことやこういったことを目指してやってきたことは正解だったということや黄付箋紙に書きましょう。

- ・今まで困難なことから逃げてきたけれど、今は前に進まない
- ・もう少しもう少しとがんばることではない

〔作業の形態・・・4人の班〕

- ・自分の学びと向き合うことを大切にしたいので個人作業を基本とするが、班の中で相談しながら要素を挙げていってもよいこととする。
- ・ワークシートの記入が少ない生徒については机間巡視で個別に対応する。

参考作品として、相田みつをの作品や心訓七則を提示する

<相田みつをの詩>
「道」を利用

<心訓七則の掲示用>

- 一、世の中で一番楽しく立派なことは、一生涯を貫く仕事を待つ事です。
- 一、世の中で一番みじめことは人間として教養のない事です。

他五つあるが、保護者の就職事情もあるので、「世の中で一番寂しいことはする仕事のない事です」は省略することとする。

手順に従って作業を進めることを指示

	<p>3 作品づくり</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>構想ができれば、作品づくりに入りましょう。画用紙（A3）一枚の作品となるように工夫して下さい。出来上がった作品は各自模造紙に掲示して、みんなで作品鑑賞ができるようにしましょう。</p> </div> <p>各自の作品を模造紙に貼り、相互鑑賞をする。</p>	<p>イラストを入れてもよいこととするが、あくまでも言葉で勝負することを確認する</p> <p>題名は自由、記名は必ず表にする</p> <p>窓に模造紙を貼っておき、作品が出来上がったら各自貼っていく。</p> <p>相互鑑賞方法：付箋紙を使い、心に響いた作品1点以上に、コメントを書いて作品に貼る</p>
<p>ま と め</p>	<p>3 まとめ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>今日の道徳、今までの道徳の時間を振り返って、「いのち」の大切さについてどのように考えが深まったでしょうか。自分の作品がどのようなねらいで創ったのかも合わせて、ワークシートにまとめましょう。</p> </div> <p>心のノート(67頁)を読む</p>	<p>5</p> <p>【生徒に書かせたい思い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いのち」を大切にするなんて当たり前のことで、自分が「いのち」を粗末に扱ったりしていると自覚もなかった。でも、「いのち」についての授業をしていく中で、自分はたった一つの自分の「いのち」もまだまだ十分に生かしていないと思った。今日のマリナたちの必死に生きる姿から、生きることの厳しさを見せられたと共に、どのような「いのち」も尊重されなければならないと強く思った。今の恵まれた生活を当たり前と思わず、自分らしい生き方に向け、部活動や学級の係活動等に責任をもって取り組みながら、一步一步進んできたいと思った。 <p>評価の観点</p> <p>「いのちの授業」を通して、自他の「いのち」の尊さを自分のこととして捉え、「いのち」についての自分なりの課題が自覚でき、解決に向けて行動していこうとする気持ちを強くすることができたか。</p>

私の『生き方宣言』ワークシート

H15.12.4(木)

2年 組 番 氏名 _____

「いのち」の大切さ、私はこう生きたい
- 「いのち」の輝きを求めて -



「マリナ」を見ての感想を書きましょう。次の事も含んでね。

- ・彼女たちの生きる姿は、あなたの心にどのように映りましたか
- ・マリナの「今までは私など、気に掛けてくれる人はいなかった」という言葉をどう受け止めますか。

A large, rounded rectangular writing area with a dashed line for a top border and a solid line for a bottom border. The interior is filled with horizontal dashed lines for writing. In the bottom right corner of this area, there is a small illustration of a globe with several people in white robes standing around it, holding hands.

「私のいのち宣言」構想に向けて、ポイントや要素を整理しよう。

χ いのちを輝かすポイントはやっぱりこれだった
自分が目指してやってきたことは正解

(黄色の付箋紙に書いたもの)

α 取り入れた方が(心掛けた方が)よいかも

(赤の付箋紙に書いたもの)

今日の道徳や、これまでの道徳の時間を振り返り、「いのち」の大切さについてどのように考えが深まったでしょう。作品のねらいも付け加えてまとめましょう。

A large rectangular area with a dashed border, intended for writing reflections and additional points.